



(FP04101)

Japanese Utility Model Registration Application Laid-open No. HEI 3-22150 discloses a bottom valve structure of shock absorber in which a bottom piece is arranged at the bottom portion of a tube of a shock absorber, to form a oil passage in the bottom piece, so as to provide a slit valve which open or close the oil passage, wherein a sub-valve is provided in the upper side of the slit of the slit valve within the oil passage, and a valve sheet of the sub-valve is provided.

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

平3-22150

⑫ Int. Cl. 5

F 16 F 9/348
9/40

識別記号

厅内整理番号

Z

8714-3 J
8714-3 J

⑬ 公開 平成3年(1991)3月6日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 考案の名称 緩衝器のボトムバルブ構造

/-2°

⑮ 実願 平1-82857

⑯ 出願 平1(1989)7月14日

⑰ 考案者 高崎秀樹 埼玉県北足立郡吹上町筑波2-5-10 ハニーブラザ鳥波
A202号

⑱ 出願人 株式会社昭和製作所 東京都中央区日本橋3丁目3番9号

⑲ 代理人 弁理士 下田容一郎 外2名

⑳ 実用新案登録請求の範囲

緩衝器のチューブ底部にボトムビースを配設し、このボトムビースに油路を形成して、この油路を開閉するスリットバルブを設けたボトムバルブ構造において、前記油路内には前記スリットバルブのスリットの上流側にサブバルブを介装し、このサブバルブのバルブシートを設けたことを特徴とする緩衝器のボトムバルブ構造。

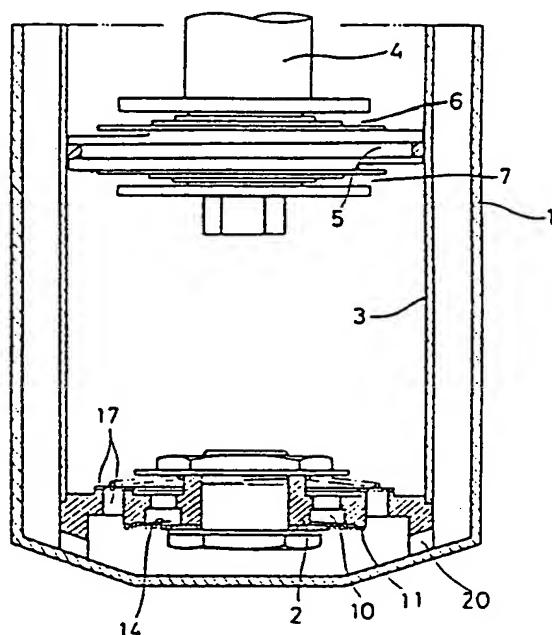
図面の簡単な説明

第1図は本考案に係るボトムバルブ構造を適用

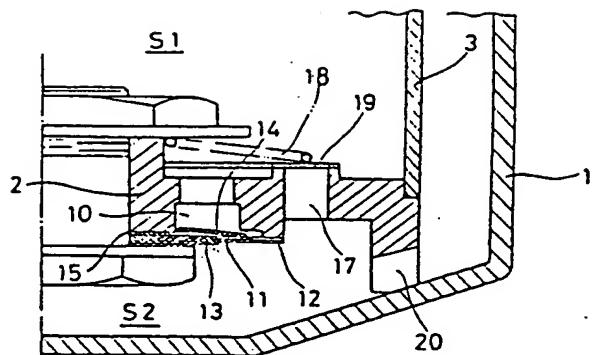
した緩衝器のボトム周りの断面図、第2図は同バルブ構造の拡大断面図、第3図は同バルブ構造の作動状態を示す断面図、第4図は従来のボトムバルブ構造の断面図である。

尚、図面中、1はチューブ、2はボトムビース、3はシリンダ、5はピストン、10、17は油路、11はスリットバルブ、14はサブバルブ、15はバルブシートである。

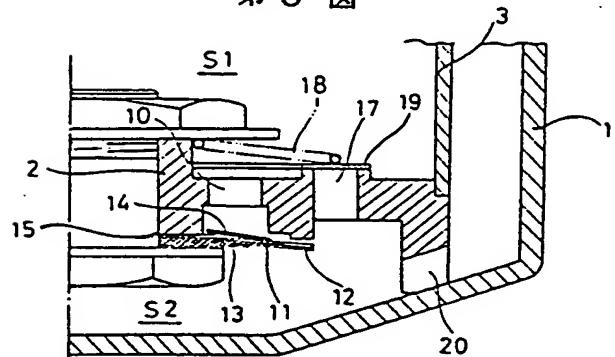
第1図



第2図



第3図



第4図

